MAX®
マックス株式会社

●マックスお客様ご相談ダイヤル　**0120-228-358**
『ナンバーディスプレイ』を利用しています。

●販売拠点等

本社	〒103-8502	東京都中央区日本橋箱崎町6-6	TEL(03)3669-8121
札幌支店	〒060-0041	北海道札幌市中央区大通東6-12-8	TEL(011)261-7141
仙台支店	〒984-0015	宮城県仙台市若林区卸町5-3-4	TEL(022)236-4121
盛岡営業所	〒020-0824	岩手県盛岡市東安庭2-10-7	TEL(019)621-3541
東京支店	〒103-8502	東京都中央区日本橋箱崎町6-6	TEL(03)3669-8101
多摩営業所	〒190-0022	東京都立川市錦町5-17-19	TEL(042)528-3051
東関東営業所	〒300-0811	茨城県土浦市上高津915-1	TEL(029)835-7322
千葉営業所	〒223-5859	千葉県千葉市中央区港町16-25	TEL(043)223-5859
群馬営業所	〒370-0031	群馬県高崎市上大類町412	TEL(027)353-7075
長野営業所	〒399-0033	長野県松本市笹賀8155	TEL(0263)26-4377
新潟営業所	〒955-0081	新潟県三条市東裏館2-14-28	TEL(0256)34-2112
名古屋支店	〒462-0819	愛知県名古屋市北区平安2-4-87	TEL(052)918-8619
静岡営業所	〒420-0067	静岡県静岡市葵区幸町29-1	TEL(054)205-3535
大阪支店	〒550-0014	大阪府大阪市西区北堀江3-9-10丸一鋼管ビル	TEL(06)6110-0253
京滋営業所	〒612-8414	京都府京都市伏見区竹田段川原町195	TEL(075)645-5061
神戸営業所	〒650-0017	兵庫県神戸市中央区楠町6-2-4 ハーバースカイビル1F	TEL(078)367-1580
沖縄営業所	〒901-2132	沖縄県浦添市伊祖2-17-1	TEL(098)875-3577
広島支店	〒733-0035	広島県広島市西区南観音7-11-24	TEL(082)291-6331
福岡支店	〒812-0006	福岡県福岡市博多区上牟田1丁目5-1	TEL(092)411-5416
南九州営業所	〒891-0115	鹿児島県鹿児島市東開町3-24	TEL(099)269-5347
マックス販売株式会社　本社	〒331-0823	埼玉県さいたま市北区日進町3-421	TEL(048)651-5346
埼玉営業所	〒331-0823	埼玉県さいたま市北区日進町3-421	TEL(048)651-5341
横浜営業所	〒241-0822	神奈川県横浜市旭区さちが丘7-6	TEL(045)364-5661
金沢営業所	〒921-8061	石川県金沢市森戸2-15	TEL(076)240-1871
岡山営業所	〒700-0971	岡山県岡山市北区野田3-23-28	TEL(086)246-9516
四国営業所	〒761-8056	香川県高松市上天神町761-3	TEL(087)866-5599
松山営業所	〒790-0036	愛媛県松山市小栗6-1-22第1白石ビル1F	TEL(089)913-1893

●マックスエンジニアリングサービス㈱

札幌サービスステーション	〒060-0041	北海道札幌市中央区大通東6-12-8	TEL(011)231-6487
仙台サービスステーション	〒984-0015	宮城県仙台市若林区卸町5-3-4	TEL(022)237-0778
新潟サービスステーション	〒955-0081	新潟県三条市東裏館2-14-28	TEL(0256)35-7252
高崎サービスステーション	〒370-0031	群馬県高崎市上大類町412	TEL(027)350-7820
埼玉サービスステーション	〒331-0823	埼玉県さいたま市北区日進町3-421	TEL(048)667-6448
名古屋サービスステーション	〒462-0819	愛知県名古屋市北区平安2-4-87	TEL(052)918-8624
京滋サービスステーション	〒612-8414	京都府京都市伏見区竹田段川原町195	TEL(075)645-5062
大阪サービスステーション	〒550-0014	大阪府大阪市西区北堀江3-9-10丸一鋼管ビル	TEL(06)6110-0265
広島サービスステーション	〒733-0035	広島県広島市西区南観音7-11-24	TEL(082)291-5670
福岡サービスステーション	〒812-0006	福岡県福岡市博多区上牟田1丁目5-1	TEL(092)451-6430

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。

4102494
210203-00/01

マックスリチウムイオン電池パック　JP-L91450A　JP-L92550A
マックスリチウムイオン充電器　JC-925A

取扱説明書

プロ用

JP-L91450A

JP-L92550A

JC-925A

⚠警告

- ●使用前に取扱説明書を読む。
- ●使用しない時は、短絡（ショート）防止用パックキャップを端子部に必ずかぶせる。
- ●端子部に他の金属を絶対に触れさせない。また、雨や水などにぬらさない。
  短絡（ショート）して、発熱・発火・破裂・発煙のおそれがあります。
- ●火中や焼却炉に絶対に投げ込まない。破裂したり、有害物質発生のおそれがあります。
- ●充電には指定のマックス充電器と電池パックを必ず使用する。
- ●必ず100V電源から充電する。
- ●発電機・昇圧器は絶対に使用しない。
- ●長時間使用しない時は、充電器の電源プラグを必ずコンセントから抜く。
- ●マックス指定工具以外には使用しない。
- ●揮発性可燃物や引火のおそれがある物のそばでは絶対に使用しない。
- ●雨の中、水にかかる場所では使用しない。
- ●濡れた手で絶対に触れない。
- ●絶対に分解・改造をしない。
- ●異常を感じたら絶対に使用しない。

●この取扱説明書は常時内容が確認できるよう保管してください。
●電池パック・充電器の仕様は機能向上のため、予告なしに変更することがあります。

このたびは、マックスリチウムイオン電池パック、マックスリチウムイオン急速充電器をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。電池パック、充電器の取扱いにあたって、この取扱説明書を最後までよくお読みください。使用上の注意事項、使用方法、能力などについて十分ご理解の上、安全に適切にご使用くださるようお願いいたします。

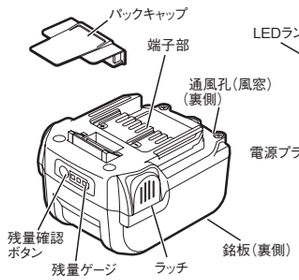
■表示の意味について

ご使用上の注意事項は、⚠警告、⚠注意、ご注意 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

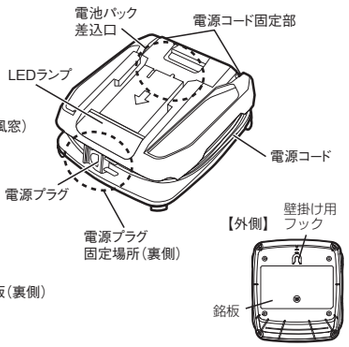
- ⚠警告：誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。
- ⚠注意：誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
  なお、⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- ご注意：製品、付属品の取り扱い及びメンテナンスなどに関する重要なご注意。

1 各部の名称

リチウムイオン電池パック
（JP-L91450A, JP-L92550A）
※イラストはJP-L91450A



リチウムイオン充電器（JC-925A）



2 ⚠安全上のご注意

- ●火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ●ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- ●お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警告

安全作業のために:
ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。

1. **専用の充電器や電池パックを使用する。**
   - ・指定以外の充電器で電池パックを充電しないでください。
   - ・指定した電池パック以外は充電しないでください。
     指定以外の充電器で充電することは、充電できないばかりか、破損したり、発火・発熱のおそれがあります。
2. **正しく充電する。**
   - ・この充電器は定格表示してある電源で使用してください。昇圧器などのトランス類、直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。充電器の故障の原因や異常発熱により火災のおそれがあります。
   - ・温度が5℃未満、又は温度が40℃以上では電池パックを充電しないでください。
   - ・電池パックは、換気の良い場所で充電してください。電池パックや充電器を充電中、布などで覆わないでください。破裂や火災のおそれがあります。
   - ・使用しない場合は、電源コードをコンセント及び充電器本体から抜いてください。感電や火災のおそれがあります。
   - ・充電器の通風孔や電池パック装着口に異物を入れないでください。感電や故障の原因になります。
3. **電池パックの端子間を短絡（ショート）させない。**
   - ・電池パックの端子に金属を接触させたり、釘など金属が入った工具箱や釘袋などに入れたり、雨や水に濡らしたりすると、短絡（ショート）して発煙・発火・破裂などのおそれがあります。
4. **感電に注意する。**
   - ・濡れた手で充電器本体、コネクタ、電源コード、電源プラグに触れないでください。感電のおそれがあります。
5. **作業場の周囲状況も考慮する。**
   - ・充電工具、充電器、電池パックは、雨中で使用したり、湿った、又はぬれた場所で使用しないでください。感電や発煙のおそれがあります。
   - ・作業場は十分に明るくしてください。暗い場所での作業は事故のおそれがあります。
   - ・可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。
     爆発や火災のおそれがあります。
6. **電池パックを火中に投入しない。**
   - ・破裂したり、有害物質の出るおそれがあります。

2 ⚠安全上のご注意

⚠警告

7. **ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、可燃性ガス、接着剤などのある場所では充電しない。**
   - ・爆発や火災のおそれがあります。
8. **火災のおそれがありますので次のことをしない。**
   - ・段ボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニール等の上では、充電しないでください。
   - ・通風孔（風窓）のある充電器は、充電中に通風孔をふさがないでください。また通風孔に金属類・燃えやすい物を差し込まないでください。
   - ・綿ほこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。
9. **電池パックの液が漏れた時は、素手で液をさわらず、以下の処置をする。**
   - ・液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗った後、医師にご相談ください。
   - ・液が体や衣服に付くと、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分洗い流した後、医師にご相談ください。
   - ・液漏れした電池パックは、直ぐに使用を中止し、火に近づけないようにしてください。
   - ・直ぐにマックスエンジニアリングサービス㈱にお買い上げの販売店を通じてご相談ください。
10. **使用時間が極端に短くなった電池パックは使用しない。**
11. **充電中、発熱などの異常に気がついたときは、直ちに電源プラグをコンセントから抜いて充電を中止する。**　・そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂のおそれがあります。
12. **異常を感じたら絶対に使用しない。**
    - ・充電器や電池パックの異常を感じたら、ただちに使用を中止し、電池パックと充電器を一緒に、充分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリングサービス㈱にお買い求めの販売店を通じ点検をお申し付けください。
13. **充電器の電池パック装着部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を近づけない。**
14. **充電器は充電以外の用途に使用しない。**
15. **密閉された狭い場所で使用しない。**　・発煙、発火、破裂のおそれがあります。
16. **電池パックを使用しない時は、必ずパックキャップをかぶせる。**
17. **充電器を使用しない時はコンセントから電源コードを抜く。**

⚠注意

1. **作業場は、いつもきれいに保つ。**
   - ・ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
2. **子供を近づけない。**
   - ・作業者以外、充電工具や充電器本体、電源コードに触れさせないでください。
   - ・作業者以外、作業場へ近づけないでください。
     けがの原因になります。

2 ⚠安全上のご注意

⚠注意

3. **使用しない場合は、きちんと保管する。**
   - ・乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、又は鍵のかかる所に保管してください。事故の原因になります。
   - ・充電工具や電池パックを温度が50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。
     電池パック劣化の原因になり、発煙、発火のおそれがあります。
4. **充電器は、注意深く手入れをする。**
   - ・充電器の電源コードは定期的に点検し、損傷している場合は、直ぐに使用を中止してください。修理の際は決してご自分で修理なさらないで、電池パックと充電器を一緒に、本機の性能回復に充分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリングサービス㈱にお買い求めの販売店を通じてお申し付けください。感電や短絡（ショート）して発火するおそれがあります。
   - ・マックス指定の純正電源コード以外は使用しないでください。満足な性能が得られないばかりか、感電やショートして発火するおそれがあります。
   - ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合は交換してください。感電や短絡（ショート）して発火するおそれがあります。
5. **充電器のコードを乱暴に扱わない。**
   - ・コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
   - ・コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
   - ・コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。
   - ・充電器の保管時や充電工具のケースへの収納時には、電源コードのコネクタを抜いた状態で保管してください。
     感電や短絡（ショート）して発火するおそれがあります。
6. **損傷した部品がないか点検する。**
   - ・電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。
7. **充電器の修理は、専門店に依頼する。**
   - ・サービスマン以外の人は、充電工具、充電器、電池パックを分解したり、修理・改造は行わないでください。
   - ・この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
   - ・修理、メンテナンス、調整は、純正部品以外は使用しないでください。
   - ・充電工具、充電器、電池パックが熱くなったり、異常に気付いた時は、直ぐに使用を中止し、電池パックと充電器を一緒に、本機の性能回復の為に充分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリングサービス㈱に、お買い求めの販売店を通じて点検・修理をお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理すると、充分な性能を発揮しないばかりでなく、事故やけがの原因になります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

3 仕様及び付属品

〈充電器〉

商品名	マックスリチウムイオン充電器
商品記号	JC-925A
質量	0.7kg
大きさ	(L)170 x (W)150 x (H)77
電源（入力）	AC100V 50/60Hz 220VA
充電電圧／電流（出力）	DC14.4V/4.0A　DC18V/4.0A　DC25.2V/2.8A
使用温度範囲	5℃～40℃

〈電池パック〉

商品名	マックス リチウムイオン電池パック	
商品記号	JP-L91450A	JP-L92550A
電池種類	リチウムイオン電池	
公称電圧	DC 14.4V	DC 25.2V
公称容量（定格容量）	5.0Ah (4.9Ah)	5.0Ah (4.9Ah)
充電時間（周囲温度25℃時）（充電器JC-925A使用）	実用充電完了 約55分 満充電完了 約80分	実用充電完了 約80分 満充電完了 約100分
付属品	パックキャップ〔短絡（ショート）防止用〕	
質量	0.5kg	0.9kg

・上記仕様は改良の為、主要機能および形状等が変更されることがありますのでご了承ください。

4 使用方法

⚠警告

- ●**指定電圧で充電する。**
  必ずAC100Vのコンセントより充電してください。指定電圧以外の充電は故障の原因となるだけでなく危険です。
- ●**エンジン発電機や直流電源では絶対に充電しない。**
  故障の原因となるだけでなく異常に発熱し、火災のおそれがあります。
- ●**正常なコンセントを使う。**
  充電器の電源プラグを差し込んだ時に、ガタがあったり、すぐに抜けたりするコンセントをそのまま使うと加熱による事故の原因になります。このような時は、別の正常なコンセントをお使いください。

◆充電方法

お買い上げ時の電池パックについて

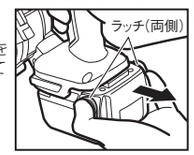
お買い上げ時の電池パックは十分に充電されていません。ご使用前に充電器で正しく充電してからご使用ください。

⚠警告

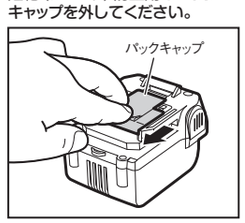
- ●**お買い上げ時の電池パックは十分に充電されていませんが、工具に取付け、スイッチ操作すると作動するおそれがあるので注意する。**
- ●**電池パックを工具に取付け、取外しをするときは、スイッチをOFFにした状態で行う。**

一度使用されて電池パックを工具に取付けている場合

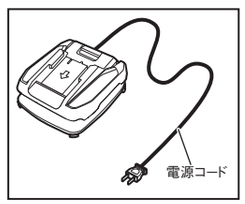
工具より電池パックを取外します。
左右両側にあるラッチを押し下げて、矢印方向にまっすぐ電池パックをスライドして取外してください。

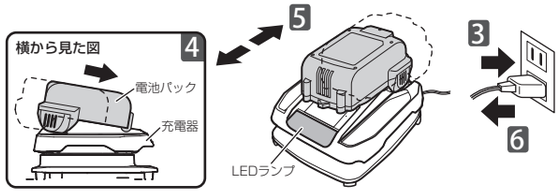


1 電池パックの端子部にかぶせてある短絡（ショート）防止用のパックキャップを外してください。



2 充電器に巻いてある電源コードを丁寧に伸ばしてください。





3 **電源プラグをAC100Vのコンセントに差し込んでください。LEDランプが1秒間点灯し、通電状態をお知らせします。**

LEDランプ点灯イメージ（通電）
1秒

4 **電池パックを充電してください。**

①電池パックを充電器の電池パック装着口の奥にあたりカチッというまでしっかりとスライドさせます。このとき、電池パックのストッパが充電器にしっかり掛かっていることを確認してください。

②電池パックを充電器にセットすると、自動的に充電を開始します。充電を開始すると、充電済みの容量に応じてLEDランプが下の3パターンで点滅します。

LEDランプ点灯イメージ（0～30%）
1回点滅繰り返し

LEDランプ点灯イメージ（30～50%）
2回点滅繰り返し

LEDランプ点灯イメージ（50～80%）
3回点滅繰り返し

③LEDランプが下の表示に変わったら実用充電完了です。この状態で電池パックの容量の約80%充電されています。（充電時間・充電容量は、気温や電源電圧により多少変動します。）

LEDランプ点灯イメージ（実用充電完了）
点灯（一瞬消灯）

実用充電が完了したら使用できますが、そのまま電池パックを抜かないでおくと、残りの容量を充電し続け、LEDランプが点灯になれば満充電完了（容量の約100%）です。

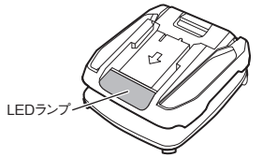
LEDランプ点灯イメージ（満充電完了）
点灯

5 **充電が完了したら、ストッパを押しながら電池パックを充電器から抜き取ってください。**

6 **電源プラグをコンセントから抜いてください。**

◆充電時のLEDランプ表示について

本機では、本体正面の大型LEDランプにて、以下の9種類の充電状態を表します。



	LEDランプ	状態	内容
①	1秒点灯	充電器通電	電源プラグをコンセントに差し、充電準備ができました。
②	（消灯）	待機中	
③	1回点滅繰り返し	充電中	容量の約0～30%の充電が完了しました。
④	2回点滅繰り返し	充電中	容量の約30%の充電が完了しました。
⑤	3回点滅繰り返し	充電中	容量の約50%の充電が完了しました。
⑥	点灯（一瞬消灯）	実用充電完了	容量の約80%の充電が完了しました。ご使用いただけます。
⑦	点灯	満充電完了	満充電が完了しました。
⑧	明暗繰り返し	温度待機中	電池パックが低温または高温のため、充電待機中です（充電していません）。
⑨	点滅繰り返し	充電エラー	電池パック、または充電器に異常があります。

ご注意

残量を使い切った電池パックを充電しますと、電池パックの残量表示ランプの中央ランプが点灯する場合がありますが、故障ではありません。

⚠ 注意

⑧の「温度待機中」が表示された場合

電池パックが高温の場合

電池パックが熱を持っているとき（例:工具の連続使用直後や、電池パックを直射日光の当たるところに長時間放置した後など）は、充電器にセットしても電池の保護のため、電池パックの温度が下がるまで充電を自動的に待機します。使用しないで放置したり日陰に置くなどして電池パックの温度が下がると、自動的に充電がスタートします。

電池パックが低温の場合

電池パックが低温（5℃未満）の場合、充電器にセットしても電池の保護のため、電池パックの温度が上がるまで充電を自動的に待機します。電池パックを室内など常温の場所に置くなどして電池パックの温度が上がると、自動的に充電がスタートします。

⑨の「充電エラー」が表示された場合

充電できない状態です。

・この場合は、まずコンセントから電源プラグを抜きます。そして充電器から電池パックを抜き、電池パック・充電器の端子部に異物が入っていないか、また濡れていないか確認してください。もし異物が入っていたり濡れていたりした場合には、柔らかい布等でふき取ってください。
・LEDランプが点滅し続けるときは、電池パックの寿命であるか、もしくは電池パックか充電器に異常があると考えられます。別に電池パックをお持ちの方は、電池パックを変えてお試しください。
・それでもLEDランプが点滅する場合は、すぐに使用を中止してください。決してご自分で修理なさらず、電池パック・充電器両方を一緒に、本機の性能回復のために充分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリングサービス㈱へ、お買い求めの販売店を通じて点検・修理をお申し付けください。

電池パックをセットしても③～⑨の表示にならない場合

電源電圧が高すぎたり低すぎたりする場合、充電器保護のために充電できません（LEDランプも点灯しません）。電源状態をご確認いただき、コンセントに直接つないだり、発電機の使用をやめる等して、電源状態を改善してください。

その他の注意事項

・満充電した電池パックを再度充電器にセットすると再び③～⑥の表示になることがありますが、故障ではありません。しばらくすると、満充電完了の⑦の表示になります。
・充電時間は周囲温度や電池パックの状態により長くなることがあります。
・電池パックを連続で充電される場合は、充電時間が長くなることがあります。
・一度充電が完了した後、次の充電まで充電器を5分以上休ませてください。

◆壁掛けについて

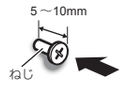
本機は壁に掛けて使用することができます。

⚠ 注意

本機や電池パックの落下を防ぐために、以下を必ず守る。

・壁掛け用のねじ・釘は、抜けたり曲がったりしないよう注意してください。柔らかい部材や不安定な部材に留め付けたり、細すぎるねじ・釘を使用すると、本機が落下しけがや事故の原因となります。
・本体のはずれ止め用に、掛け部とは別にもう1本のねじ・釘を使用してください。
・はずれ止め用ねじ・釘を取付ける場合、電源コードに傷をつけないよう注意してください。
・電池パックはロックされるまでしっかりとセットしてください。
・電池パックの抜き差しは、必ず両手で行ってください。
・電源コードを引っ掛けないように注意して配線してください。

1 **掛ける部材にねじ・釘を5～10mm程度浮かせて留めつけてください。**



使用釘・ねじ	長さ
N・CN釘	65～90mm
コーススレッドねじ	41～90mm

2 **留め付けた釘・ねじに、本体裏側の壁掛け用フックを掛け、その後にはずれ止め用の釘・ねじを追加して留め付けます。**

3 **電池パックのセット時には必ず電池パックのストッパがロックされるまでしっかり奥まで差込んでください。また抜き差しは必ず両手で行ってください。**

◆充電時の故障について

次のような状態のときは、充電器または電池パックに故障があると考えられますので、決してご自分で修理なさらず、電池パック・充電器両方を一緒に、本機の性能回復のために充分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリングサービス㈱へ、お買い求めの販売店を通じて点検・修理をお申し付けください。

・充電器の電源プラグをAC100Vのコンセントに差込んでも、「充電器通電」の表示にならない。
・電池パックをセットしても、充電を開始しない。
・「温度待機中」の表示後、温度環境を改善して1時間以上たっても充電を開始しない。
・充電を開始して4時間以上経過しても「実用充電完了」または「満充電完了」に切り替わらない。

◆電源コードの巻き付け収納について

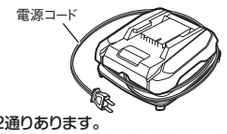
本機は電源コードを本体に巻きつけて保管することができます。

⚠ 注意

電源コードを乱暴に扱わない。

・電源コードを持って充電器を運んだり、電源コードを引っ張ってコンセントから抜いたり、巻き取ったコードを無理に引っ張ってほどかないでください。
・電源コードを熱・油・角のとがったところに近づけないでください。
・電源コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。
・充電器を充電工具のケースへ収納する際には、はさみ込みに注意してください。感電や短絡（ショート）して発火するおそれがあります。

1 **本体側面の溝に沿って電源コードを巻きつけてください。その際に無理に電源コードを引っ張ったりしないでください。**



2 **電源プラグおよび電源コードの固定方法は2通りあります。巻き取った際の電源プラグの位置によって、お好みの方法で固定して収納してください。**

本体前面の奥のスペースに入り込ませる

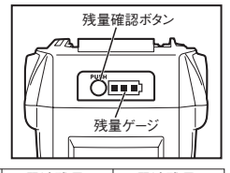
本体背面の電源コード固定部を通す

◆電池残量表示について（JP-L91450A・JP-L92550A）

本機は充電中と充電工具の運転中を除き、いつでも電池残量を確認することができます。

❶電池残量を確認したい時（充電中または充電工具運転中以外）に、残量確認ボタンを押してください。

❷その時の電池残量に応じて、残量ゲージが点灯します。



	電池残量 0%	電池残量 約0～10%	電池残量 約10～40%	電池残量 約40～70%	電池残量 約70～100%
表示方法の電池残量	全て消灯	1個　点滅	1個　点灯	2個　点灯	3個　点灯

ご注意

●充電中や充電終了直後、充電工具の運転中は、残量確認ボタンを押しても残量が正しく表示されません。

●残量表示はあくまで目安です。作業負荷や周囲温度によって残量が正しく表示されない場合がありますが故障ではありません。

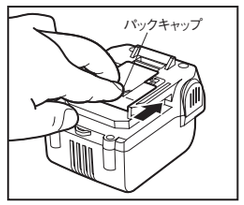
●表示される残量表示は、残量表示機能のある機械側の残量表示と同じ表示にはなりません。あくまで目安とお考えください。

●表示される電池残量は、満充電完了した時に充電された容量を基準にしています。例えば、新品の電池パックと長期間の使用等により劣化した電池パックを比較した場合、同じ30%の電池残量であっても、そこからの作業量は異なります。

◆電池パックを長持ちさせるために（保管方法）

⚠ 警告

●使用後は、工具・充電器から電池パックを取り外し、短絡（ショート）防止用のパックキャップを電池パック端子部にかぶせて保管する。



ご注意

●工具を使用した直後の電池パックは、放熱させてから充電する。
すぐに充電すると電池パックの寿命が短くなります。

●工具の力が弱くなってきたと感じたら、使い続けるのはやめ、充電する。
無理して使いつづけると電池パックが傷み、寿命が短くなります。

●夏季の自動車の車内や直射日光の当たる場所に放置・保管しない。
高温の場所に放置しますと電池パックの劣化の原因になります。理想的な保存環境は10℃～30℃の乾燥した暗所です。

●使い切った状態のまま電池パックを保管しない。
充電が空の状態で長時間放置すると電池パックの故障の原因になります。使い終わったらすぐ充電してください。

●電池パックを電動工具や充電器に装着したまま保管しない。
微弱な電流が流れつづけて、そのままにしておくと過放電状態になり電池パックの故障の原因になります。必ず電池パックを外して保管してください。

◆電池パックの寿命について

正しく充電しても使用回数が著しく低下した場合には、電池寿命がつきたものとお考えいただき新しい電池パックをお買い求めください。

◆リチウムイオン電池の輸送について

リチウムイオン電池及びリチウムイオン電池同梱品を輸送する場合、次の点を注意してください。

⚠ 警告

●必ずパックキャップをかぶせる。
●リチウムイオン電池を輸送する場合には、個々の電池が触れないように分けて強固な包装で梱包する。
●リチウムイオン電池同梱製品を輸送する場合には、付属のキャリングケースに入れる。
●輸送会社・航空会社に相談の上、適切な輸送方法で輸送する。

◆リチウムイオン電池のリサイクルについて

リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。寿命の尽きた電池パックは廃棄せずにお買い求めの販売店、もしくは最寄のマックスエンジニアリングサービス㈱へお持ちください。環境の保全と資源リサイクルにご協力をお願いいたします。

⚠ 警告

●電池パックは短絡（ショート）防止のため、端子部（金属部）に必ずパックキャップをかぶせ（絶縁テープを巻いて）リサイクルに出す。

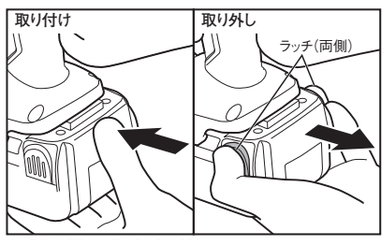
Li-ion
リチウムイオン電池はリサイクルへ

◆電池パックの取り付け、取り外し方

⚠ 警告

●電池パックを工具に取り付け、取り外しをする前に、必ず工具のスイッチがロックされていることを確認する。
●使用前には、電池パックが工具に確実に取り付けられていることを必ず確認する。不完全な状態ですと、作業中に電池パックが落下して怪我などするおそれがあります。

・取り付けは、電池パックの溝を工具の溝に合わせ、矢印方向にまっすぐ奥までスライドさせ、「カチッ」と音がするまでしっかりと押し込んでください。
・電池パックを工具から取り外すときは、左右両側にあるラッチを押して、矢印方向にまっすぐ電池パックをスライドして取り外してください。



※イラストはRB-441TとJP-L91450A

5 性能を維持するために

⚠ 警告

●電池パックの点検・手入れの際は、必ず電池パックを充電器から外す。
電池パックを充電器に取り付けたまま行うと事故の原因になります。
●充電器の点検・手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、コネクタを充電器本体から抜く。

◆電池パックの手入れ

電池パック、充電器の掃除にはから拭き、水またはぬるま湯で薄めた中性洗剤を湿らせた布をよく絞ってから表面を拭いてください。ガソリン、テレピン油、ペイント用シンナーなどの薬品は電池パック、充電器を傷めますので使用しないでください。電池パック、充電器内部に液体が入らないように、また、電池パック、充電器を液体に浸けないように十分注意してください。

◆各部取り付けねじの点検

ねじが緩んでいないか点検してください。もし、緩んでいたら締め直してください。

◆作業後の保管

●作業後は、高温にならない乾燥した場所に保管してください。お子様の手の届く範囲や落下のおそれがある所は避けてください。充電器JC-925を保管、収納する際は、電源コードを抜いた状態で保管、収納してください。
●電池パックを長持ちさせるために、長期間（6ヶ月以上）ご使用にならない場合は、下記のことに注意して保管してください。

ご注意

●充電してから保管する。　●温度が50℃以上の場所では保管しない。
●−20℃以下の場所では保管しない。　●直射日光の当たる場所には保管しない。
●結露するような温度変化の大きい場所での保管はしない。
●湿度の高い場所に保管しない。　●水を付着させない。
●湿度の低い乾燥した場所で保管する。　●運搬・移動時は落下や大きな振動を与えない。
●短絡（ショート）を防ぐために金属物に接触させない。
●電池パックは必ず工具・充電器から取り外してパックキャップをつけて保管する。

【アフターサービスについて】

●充電器の修理、メンテナンス、調整は純正部品を使用して行わなければなりません。
修理の際は決してご自分で修理をなさらないで、電池パック、充電器両方を一緒に、本機の性能回復の為に充分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリングサービス㈱へ、お買い求めの販売店を通じてお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理を行いますと、事故やけがのおそれがあります。